

飯舘村の現状

(原発事故の実像!!)

2025.1.26

郡山市：ミュージカルがくと館

飯舘村放射能エコロジー研究会

飯舘村村民 伊藤延由

★原発事故からの復興は無い！！
★あるとすれば300年の時間薬！！

- 山林原野は未除染(飯舘村の場合は84%未除染)
- 野生の生物には全てセシウムが入っている
(自然の循環サイクルに組み込まれた)
- 栽培物は限りなくゼロに近い
農地の除染/カリウム施肥

事故後の調査結果データで示す

原発事故がもたらした土壌汚染の実態

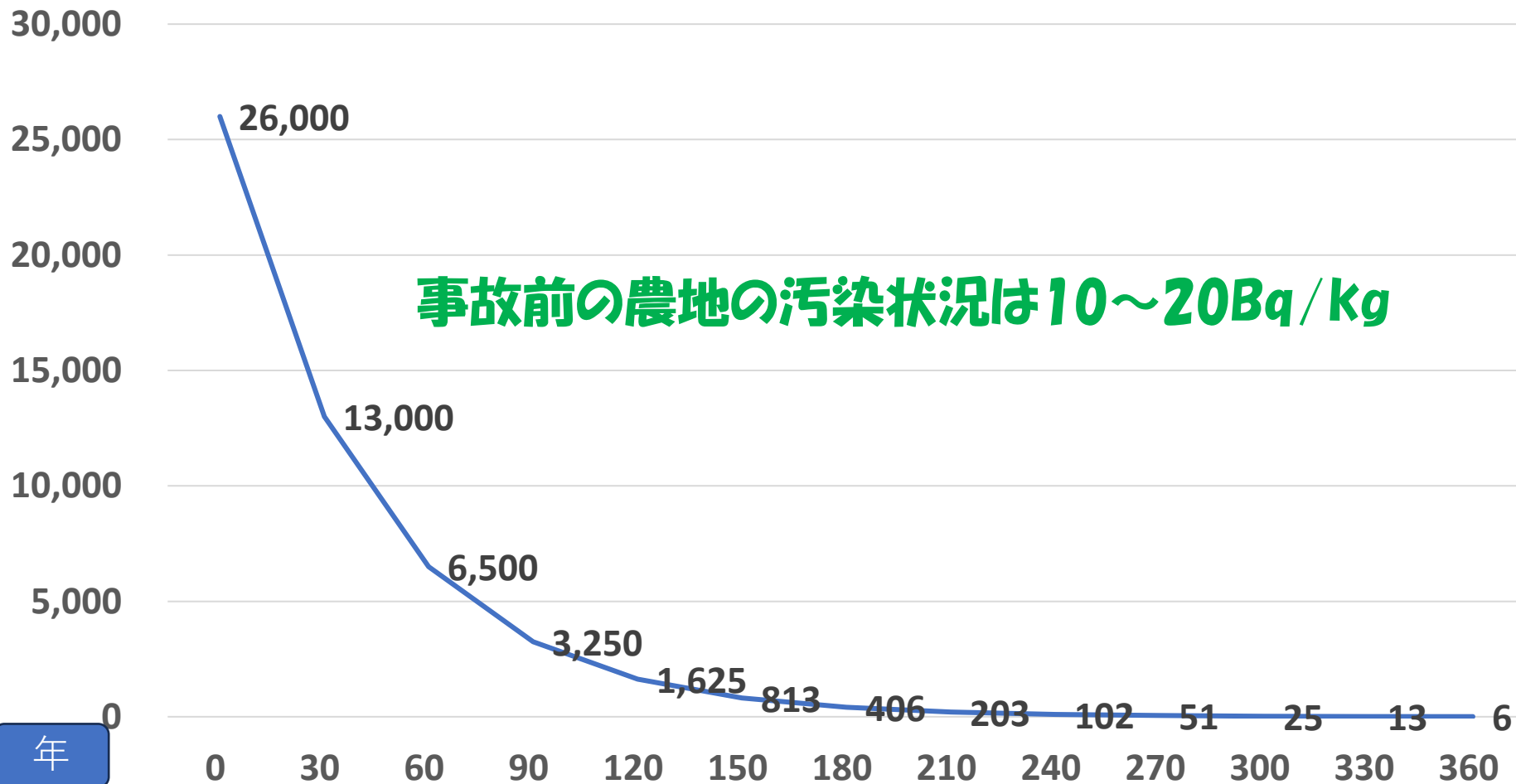
2023.9

No	採取場所	採取年月	セシウム量 (Bq/Kg)	備考
1	瀬波海岸海砂	2021年4月	7	2023.8.31 5.6Bq/kg
2	瀬波海岸段丘		10	
3	三面川土手		25	
4	村上小学校		14	2023.8.31 12.4Bq/kg
5	新潟市東区	2023年3月	10	伊藤自宅
6	熊本市	2023年3月	9	熊本市N氏宅庭
7	新潟県上越市柿崎町	2021年4月	8	柏崎刈羽原発から約30km地点
8	新潟県刈羽村	2019年11月	22	柏崎刈羽原発構内
9	新潟県柏崎市	2020年4月	11	”
10	長野県小布施町	2022年4月	70	Cs-134が約3.0Bq/kg
11	飯舘村除染済み	2022年	8,847	村内34か所の平均 村の面積の16%
12	飯舘村未除染	2022年	26,776	村内21か所の平均 村の面積の84%

Cs-137 26,000Bq/kg減衰グラフ

時間薬の効き方

Bq



年

山菜

単位：Bq/Kg

種目	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
ふきのとう		2,483	319	201	108	70	51	26	46	30	20	28	
(沼平)				143	201	51	31	20	87	32	26	32	23
山ウド	81	72	103	62	7	6		ND	ND	ND	ND	ND	ND
タラの芽		320	779	295	793	26	58	14	41	16	24	23	19
コシアブラ			35,593	270,238	61,727	19,455	20,620	12,304	16,383	10,952	17,493	20,870	17,920
ワラビ		1,503	269	3,047	916	960	662	266	382	228	245	318	214
ミズフキ		446	452	410	399	210	110		99	98	67	70	127
ハチク		3,642	797	512	307	714		340	386	175	110	58	97
茗荷竹			19	37			12	5	ND				ND
コゴミ		197	6,004	3,481	1,587	2,301	637	1,019	952	221	314	718	382
シドキ		158	515	1,984	242		45	31	16	20	17	19	31
ぜんまい							1,102	347	358	254	229	174	183

測ったものはこの値！！

原発事故の実像20240805

茸

単位：Bq/Kg

またた種別	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
チチタケ		76,000	500				628～ 2,162						3,664
松茸	866	3,590	3,032	7,244	5,410～ 29,000	3,493～ 14,464	7,865	2,700～ 31,745	3,833～ 5,068	2,589～ 22,108		13,319	1,723～ 27,000
猪鼻茸	44,300	48,800	27,940	72,100	44,460	3,820～ 10,873	13,628～ 28,370	2,880～ 17,338	4,197～ 35,576	10,333～ 17,924	13,307～ 34,292	9,769～ 23,843	5,556～ 48,056
サクラシメジ			14,018			31,634		21,210	84,088	32,850		30,214～ 64,489	49,539
千本しめじ			988					216	176～ 860	99～300		257～ 872	93 ～439
アマタケ									8,762	11,900		21,792	17,876
はたけしめじ			255							7	5		17
村内栽培 原木椎茸	838								332				
天然椎茸			98,839										
椎茸（流通）									0～29				

やっばいキノコは300年
タチ 

川魚の場合

(真野川水系木戸木川)

採取:2023.8.21

魚種	検体数	筋肉Cs Bq/kg	備考
ヤマメ	4	28.2~401.7	汚染最小 10.4g 汚染最大 100.9g
イワナ	10	24.1~181.0	汚染最小 24.2g 汚染最大 110.9g

魚齢高い方が汚染高い

採取:2024.9.16

No	魚種	採取地点	全長 (cm)	体重 (g)	部位	Cs計 (Bq/kg)	Cs量 (Bq)	筋肉量 (g)	平均Cs量 (Bq/kg)	備考
1	ヤマメ1	新田川 飯舘村 小宮沼平	13.5	18.5	筋肉	103.0	1.0	9.9	549.0	
2	ヤマメ2		13.2	28.2		401.0	6.9	17.1		
3	ヤマメ3		14.2	29.1		279.0	4.8	17.2		
4	ヤマメ4		15.0	45.9		728.8	17.7	24.3		
5	ヤマメ5		14.8	47.6		932.1	21.5	23.0		
6	ヤマメ6		16.0	50.5		643.1	17.5	27.2		
7	ヤマメ7		17.5	71.4		808.9	35.1	43.4		
8	ヤマメ8		19.0	80.4		243.0	12.3	50.5		
						116.7	212.6			

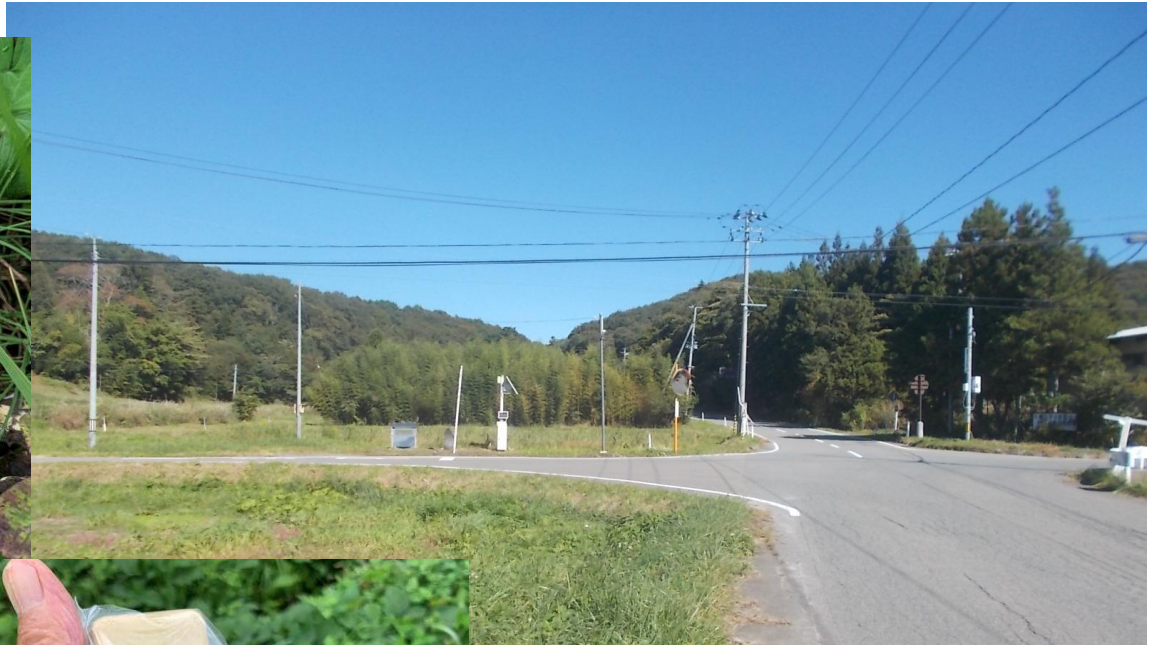
測定:東京大学 小豆川勝見先生

測ってみないとわからない(樹皮の汚染)



No	採取		Cs計 (Bq/kg)	樹種	備考
	場所	日			
1	小宮	2024/7/27	16,000	杉	表面1~2mm
2	長泥	2024/8/31	8,210	杉	〃
3	長泥	2024/8/31	71,500	桜	表面の苔&黒い物質

除染後8年の自然の営み(比叢十字路の場合)



土壌: 90,688Bq/kg

豊かな自然の恵み

2024年飯館村々内ワラビ採取

このページは非破壊検査の値

No	採取場所	採取回数	重量	総Cs量	Cs量	備考
			(g)	(Bq/kg)	(Bq)	
1	長泥	2	1,732	1,581.5	2,739.2	
2	沼平205	5	5,911	1,203.6	7,114.6	
3	沼平420	4	1,560	81.6	127.4	
4	野手上山麓	12	9,419	193.5	1,822.1	
5	野手神(鉄塔下)	1	149	238.4	35.5	
6	藤平	21	28,570	36.9	1,054.3	
	総計	45	47,341	272.3	12,893.1	

栗(カーボンファーム沼平採取)

種	本数	収穫量	総Cs量	備考
		(kg)	(Bq/kg)	
丹波栗	2	23.1	22.0~214.3	
山栗	2	2.0	300.6	
クルミ	1	13.0	ND~31.4	可食部 43.3Bq/kg

私が測った松茸&猪鼻

種類	量 (単位:kg)	セシウム (単位:Bq/kg)	備考
松茸	3.8	6,000~17,600	
猪鼻茸(香茸)	14.0	5,000~51,000	

初期被ばくについて

『飯舘村初期被爆評価プロジェクト』による被ばく量

名前	月別被爆量、mSv					合計
	3月	4月	5月	6月	7月	
伊藤延由	4.0	1.9	1.7	1.6	1.3	10.5mSv

事故前の21年分?

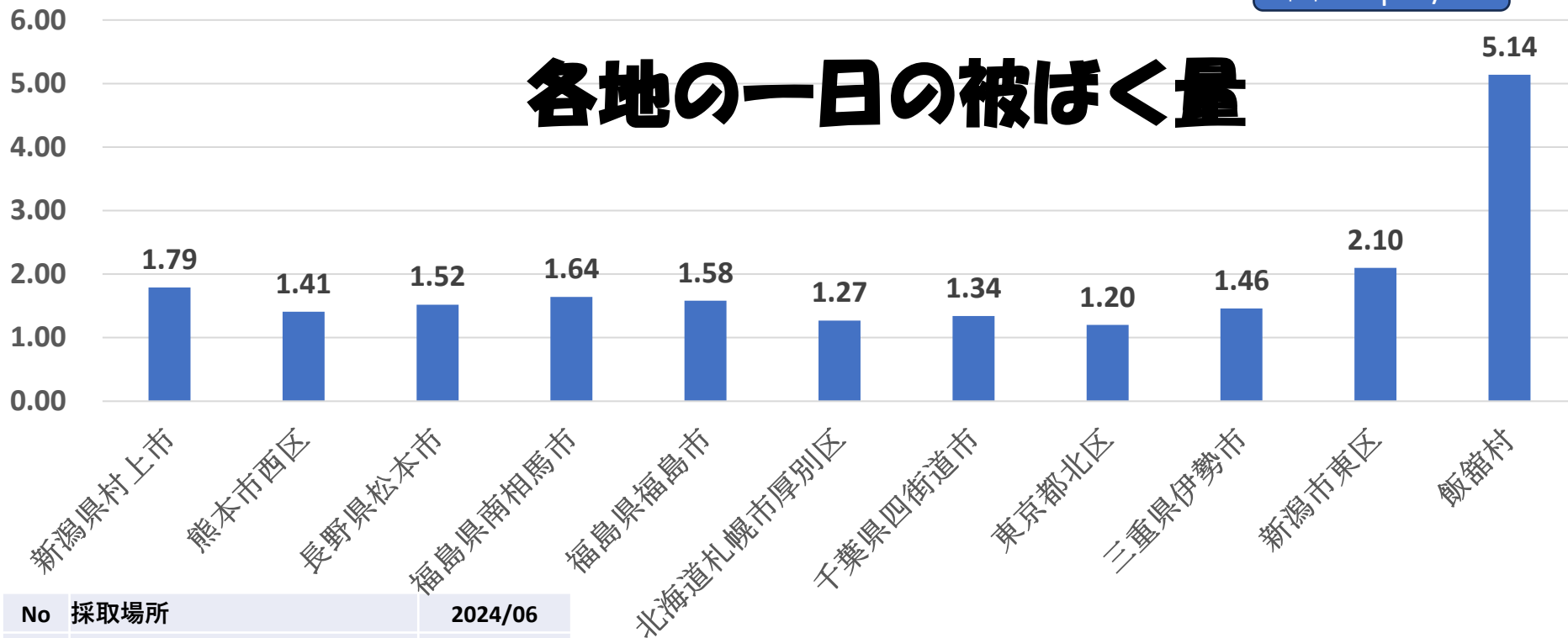
2017年～2023年の被ばく量(7年間)

年	被ばく量 (μ Sv)	村内屋内		村内屋外		村外		備考
		時間	率	時間	率	時間	率	
2017	1.837.3	5,439.5	62.1%	266.0	3.0%	3,054.5	34.9%	
2018	1.636.9	5,568.5	63.6%	281.5	3.2%	2,910.0	33.2%	
2019	1.542.4	6,110.5	69.8%	215.0	2.5%	2,434.5	27.8%	
2020	1.573.9	7,078.0	80.6%	310.5	3.5%	1,395.5	15.9%	
2021	1.560.2	6,768.0	77.3%	375.5	4.3%	1,616.5	18.5%	
2022	1.384.7	6,655.5	76.0%	445.5	5.1%	1,659.0	18.9%	
2023	1.385.8	6,587.5	75.2%	504.5	5.8%	1,668.0	19.0%	
合計	10,921.2	44,207.5	72.1%	2,398.5	3.9%	14,738.0	24.0%	

2024/6

単位：μSv/d

各地の一日の被ばく量



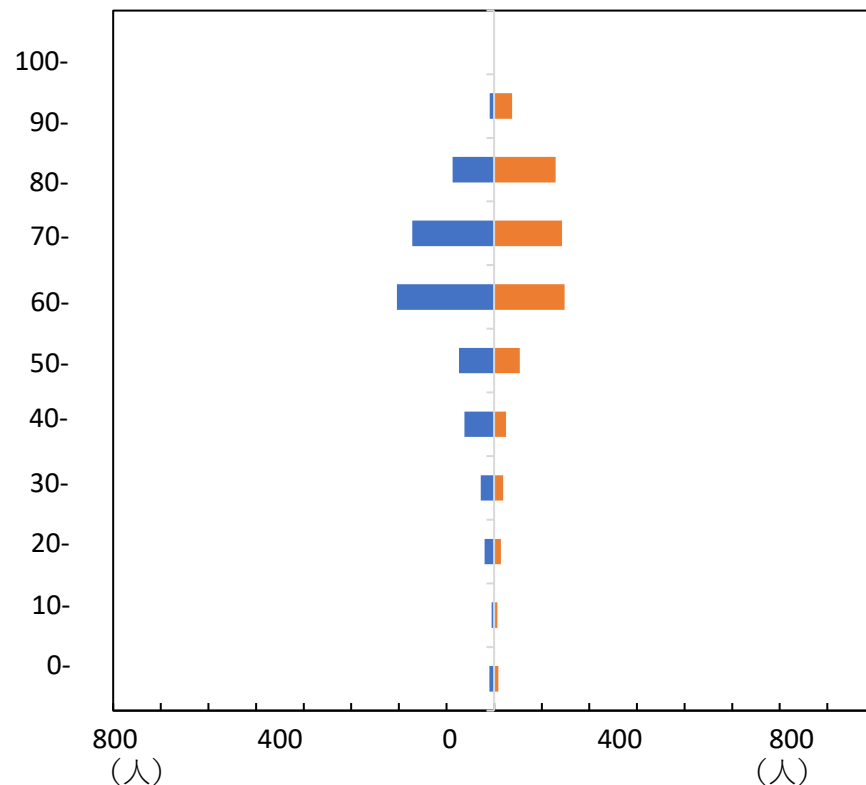
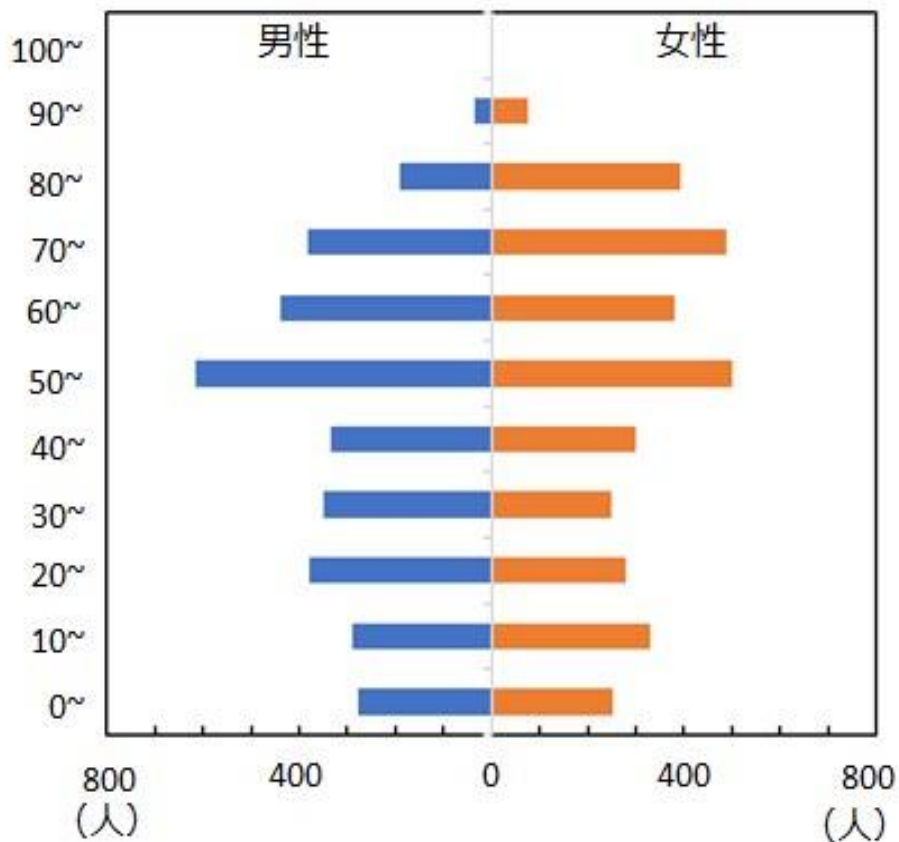
No	採取場所	2024/06
1	新潟県村上市	1.79
2	熊本市西区	1.41
3	長野県松本市	1.52
4	福島県南相馬市	1.64
5	福島県福島市	1.58
6	北海道札幌市厚別区	1.27
7	千葉県四街道市	1.34
8	東京都北区	1.20
9	三重県伊勢市	1.46
10	新潟市東区	2.10
11	飯舘村	5.14

村の状況(2024.12.1現在)

避難指示解除 2017年3月31日

事項	人数	世帯数	世帯当り	備考
①事故前(2011.1.1)	6,544	1,716	3.81	
②事故直後	6,544	3,200	2.05	分離避難による
③2024年12月1日現在	4,529	2,084	2.17	住民登録者数 -11
④帰還者	1,183	628	1.88	-3
⑤転入	280	131	2.14	+1
⑥出生	9	0		
⑦村内避難	1	1	1.00	長泥地区住民
⑧未避難	5	2	2.50	
⑨いたたてホーム入居	43	42	1.02	-1
⑪村内居住者計	1,521	804	1.89	-3
⑫県内避難者	2,863	1,192	2.40	
⑬県外避難者	142	85	1.67	
⑭不明	3	3	1.00	
福島県外避難者	19,969			(2024年8月1日現在)

飯舘村人口推移2011年1月／2021年1月帰村者



飯舘村2010.12.28. (飯舘村資料)

住民登録者数 6,544名
 60才以上の率 36.5%
 高齢化率 28.7%

帰村者数 1,258名
 帰村者の内60才以上 74.0%
 高齢化率 61.5%
 (住民登録者数 5,247名)

除染土壌の再利用について

世紀を超えた愚策！！

除染で集めた8,000Bq/kg以下を再利用する

事故前の汚染土壌の再利用は100Bq/kg以下

事故前の国内の土壌汚染は10～20Bq/kg

- 核物質の管理の要諦は閉じ込め拡散させない
- 巨費(福島県内で5兆円?、飯舘村で4,000億円)を投じて危険だからと集めた
- 最終処分場が無いから可能な限り量を減らす

- 300年間掘削しない?
- 300年間自然災害による流出しない?

トリチウム海洋放出はなぜいけないのか？

トリチウム排出状況

(単位:兆Bq)

設置場所	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	合計	平均
福島第一	2.00	1.40	0.78	1.40	1.00	1.30	2.60	1.40	1.60	2.00	15.48	1.5480
福島第一	0.80	1.30	0.97	0.38	0.33	0.90	0.80	0.73	0.30	0.98	7.03	0.7030
柏崎刈羽	0.96	0.41	0.12	0.85	0.49	0.81	0.88	0.88	0.92	0.54	6.86	0.6860
北海道泊	33.00	31.00	29.00	22.00	19.00	31.00	29.00	27.00	20.00	30.00	271.00	27.1000
女川	9.0e+10	6.2e+10	7.9e+10	5.6e+9	8.0e+8	2.1e+9	5.4e+9	5.1e+9	6.7e+9	6.6e+10		
東通					9.4e+8	3.9e+10	3.4e+10	5.3e+10	9.0e+10	2.3e+11		

*出典:(公益財団法人)原子力安全研究協会

- 世界中の原発からトリチウムは排出されている(二次冷却水)
- 福島第一原発の汚染水はプールに触れた一次冷却水(だからALPSで処理する)
- 現在タンクに溜まっているトリチウムは780兆Bq(東電発表)
- **事故前10年間の排出量は年平均1.55兆Bq、780兆Bqは500年分！！**
- 基準値以下にしても総量は変わらない
- 海は偉大、希釈してくれるかもしれないが、これ以上海に負荷をかけてはいけない
- 日本だけの海じゃないから
- **海洋放出以外の手法がある**

謝 辞 !!

発表を纏めるにあたりお世話になりました方々に心からお礼申し上げます。

- ・ 京大複合原子力科学研究所 今中哲二先生
- ・ 環境ジャーナリスト 小澤祥司先生
- ・ 日本大学 糸長浩司先生
- ・ 広島大学 遠藤 暁 先生
- ・ 独協医科大学 木村真三先生
- ・ 東京大学名誉教授 鈴木 讓先生
- ・ 東京新聞 山川剛史記者

- ・ そして多くの村民の方の協力を頂きました。
- ・ **2017年～2019年高木基金の助成を受けました。**

ご清聴ありがとうございました